



大願成就。
あぁ、感無量!!!

ブラジルっ子も、ダルマの
大きさと雪の冷たさを体感



追加発注したそうです。30度を超える中、アイスや飲み物の売れ行きも好調で順番待ちの状態でした。

協会関係者に聞くと「この会館で3000人が集まったのがこれまで最高でしたが、今回は8000人。これほど盛況になるとは…」とうれしい誤算に驚いていました。

雪は消えても絆は消えず

雪ダルマプロジェクトとしてブラジルで過ごした5名が感じたことは、現地の人たちのイベントにかける情熱と温かいもてなしを受けたという印象ではないでしょうか。

私たちの要望に彼らは真摯に対応してくれました。全員初めてのブラジルで、言葉の障壁に悩まされることなく、快適に過ごすことができました。これもひとえに北海道協会の皆さんのおかげと痛感しています。

滞在期間中にたくさんの日系人の方との出会いがありました。特に真保局長は持参した100枚の名刺の内、残ったのは数枚だったとのことでした。

南米ブラジルに雪ダルマを贈るという構想から13年の歳月を要したという真保生紀さんは、「このプロジェクトに町から多くの支援をいただき感謝しています。皆さんの期待に応えるよう安平町を宣伝してきたつもりです。雪ダルマが来たという強烈なインパクトを与え、安平町の名を覚えてもらいました。さまざまな

難題をクリアして実現した成果は予想をはるかに超えるものでした。日本とブラジルの関係者の連携で大きな花を咲かせることができたと感じています」と振り返り、「雪ダルマの雪はいつか消えてなくなりますが、『北海道雪ダルマ祭』に係った人々たちとの絆は消えることはありません」と締めくくってくれました。

イベントを終えて

今回の大きなプロジェクトについては、ヒグマ会の仲間やブラジル北海道協会の皆さんの協力で大盛況に終わり感謝しています。

ね、さまざまなアイデアが生まれ、手作りの雪ダルマグッズも大変好評でした。2月のイベントに向け、安平町とメールで交信をしていましたが、どんな人たちが来るのか正直不安な気持ちを持っていました。

私たちが来るのか正直不安な気持ちを持っていました。しかしすぐに、深い友情と強い人間関係が生まれ、雪ダルマが私たちに与えてくれた効果は計り知れないものがあると信じています。



深い友情と強い人間関係が生まれ、雪ダルマが私たちに与えてくれた効果は計り知れないものがあると信じています。

滞在期間中にたくさんの日系人の方との出会いがありました。特に真保局長は持参した100枚の名刺の内、残ったのは数枚だったとのことでした。

毎月会議を開き、議論を重

北海道協会ヒグマ会
会長 田尻幸夫フアビオ